



自己肯定感を高めて

校長 賀屋 陽子

先日は、授業参観、保護者懇談会、学友会総会でお世話になりました。学校経営方針の中でも触れましたが、本校の子どもたちは、明るく素直で、自分の役割をまじめに果たし、気心が知れた集団の中ではのびのびとふるまうことができる、という良さがある反面、初めてのことや人に対して抵抗感を感じ自信をもって主体的に取り組んでいくことが難しい、という側面も見られます。



本年度も、地域と連携した活動や他校との交流学习の場を大事な学びの機会と捉えて取り組んでいきます。子どもたちの「チャレンジする勇気」を見守り、励まし、時には後押しすることで、成長できた自分を実感できるよう振り返らせ、自己肯定感を高めていきたいと思っています。

参観日の授業から

1・2年生 国語科 1年生「あめですよ」2年生「風のゆうびん屋さん」(複式指導)

国語科で複式学習を行っています。異なる学習内容を1つの教室で行う複式学習では、課題に集中できるよう机の向きも工夫します。担任が他方の指導に当たるときはリーダーが学習を進めます。今回の授業では2年生リーダーが新出漢字や音読の学習を進める場と、合同で好きなものの紹介やタブレットを使ったクイズに挑戦する場がありました。一緒に学ぶ良さも生かしながら学習を進めています。



3・4年生 学級活動 「自学マスターになろう」(家庭学習への取り組み方)

各学級で発達段階に応じた家庭学習の仕方を指導しています。今回の授業では、どんな自主学習をしたらよいかを考えさせるために、「苦手退治パワー」「得意伸ばしパワー」「発見パワー」などの具体例を挙げて説明していました。家庭学習を習慣化させ、主体的な取組へとつなげていくためにはご家庭での「声かけ」と「見かじめ」も不可欠です。手を取り合って子どもの学ぶ力を育てていきましょう。



5・6年生 学級活動 「スマホやゲームの使い方について考えよう」(情報モラル)

わたしたちの生活の一部となっているインターネット。生活を便利してくれる反面、使い方次第では危険もはらんでいます。今回の授業では、自分の生活を振り返り返ってLINEやYouTube、ゲーム利用の問題点を出し合い、おうちの方と一緒に家庭でのルールについて考えました。SNSによるトラブルは決して遠い世界のことでなく、身近な問題です。被害者はもちろん加害者にならないためにも、ご家庭での管理をお願いします。



